# たかまつ市議会レポート REPORT

平成23(2011)年10月15日発行(第153号)

● 高松市議会ホームページ ●
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html

## 三谷コミュニティセンター

8月29日に、地域のまちづくりの拠点である三谷コミュニティセンターが落成しました。地域の防災活動の拠点施設である三谷分団第1部消防屯所を併設しており、三谷地区の新たなシンボルとして親しまれ、活用されることが期待されます。

平成23年
9月定例会
**秋号**

目　次

代表質問……2～4
質疑・一般質問…5～7
情報BOX……8

### 定例会の日程

| | |
|---|---|
| 9月 6日 | 開会・提案説明 |
| 9日 | 代表質問 |
| 12日 | 代表質問・質疑 |
| 13日 | 一般質問 |
| 14日 | 一般質問・特別委員会審査 |
| 15日 | 常任委員会審査 |
| 20日 | 委員長報告・採決・閉会 |

**平成23年第4回高松市議会定例会は、9月6日から20日までの15日間の日程で開かれました。**

**今定例会では、平成23年度一般会計補正予算など20議案と意見書1件を可決し、陳情3件を不採択としました。また、人事案件4件に同意したほか、22年度一般会計など決算4件を継続審査としました。**

## 今定例会で決まった主な内容

**【市長提出議案】**

**●補正予算**

▽各コミュニティセンターにAEDを整備し、救急講習等の実施などにより、高齢者を含む地域全体の安全・安心体制の推進を図るための予算

▽災害時要援護者などに救急医療情報キットを配付するための予算

▽国の補助認証を受け、介護療養型医療施設を老人保健施設に転換する事業へ補助するための予算

▽中小企業基本条例（仮称）制定に向けて懇談会を設置するための予算

▽建築物の用途制限が定められていない香川町・香南町地域の現況建築物の調査等を実施するための予算

**●条例**

▽国際交流推進協議会を設置し、国際交流に関する施策を総合的に推進するための条例制定

▽奨学金を受ける高校生等が、支給要件を欠くことなったときに支給を停止するための条例改正

▽事業系の一般廃棄物処理手数料を、受益者負担の原則などを踏まえ改定するための条例改正

# 代表質問

各会派を代表して、大橋光政（同志会）・岡野朱里子（市民フォーラム21）・大山高子（公明党）の3人の議員が質問しました。

**質問の主な内容**

**大橋光政議員（同志会）**
政治姿勢・行財政・まちづくり・福祉・医療・産業振興・事業系一般廃棄物処理手数料・市立病院・教育

**岡野朱里子議員（市民フォーラム21）**
財政・まちづくり・新病院及びがんの緩和ケア・公契約条例・生活保護制度・子ども条例・学校教育など

**大山高子議員（公明党）**
行財政・防災・がん対策・高齢者保健福祉計画・生活保護世帯への自立支援・子育て支援・教育・新病院

## 行政改革

### 第3期まちづくり戦略計画は実効性のある計画とする

**質問** 今年度策定する第3期まちづくり戦略計画の基本的な考え方は。【同志会・市民フォーラム21】

**答弁** 同計画では、これまでの計画からの継続性にも配慮しながら、重点的・戦略的に取り組む12の課題を想定し、特に、コミュニティを軸とした協働のまちづくりと安全で安心できる生活環境の向上を、直ちに取り組むべき最重点課題として位置づける。

策定に当たっては、市民満足度調査の結果を踏まえるとともに、現計画の評価を生かすほか、市民にわかりやすい形で公表する。

また、最終年度を見据えた実効性のある計画として、さらには、毎年度の予算編成や事業実施の指針として取りまとめ、総合的かつ計画的な市政運営に努める。

### 事業仕分け

**職員の意識改革など行財政改革の推進に効果**

**質問** これまでの事業仕分けでは、職員一人一人が行政活動の目標やコスト等を意識して取り組むなど、職員の意識改革にもつながったと思うが、3年間の評価は。【公明党】

**答弁** 仕分け結果を受け、各々の仕分け過程での議論等を尊重しながら、事業の見直しに取り組むとともに、類似事業も改善に向けた見直しを行っている。

また、仕分け会場での職員の説明や質疑の応答が前向きであるとの評価を受けるなど、職員の意識改革や説明能力の向上も含め、行財政改革の推進に一定の効果があったと評価する。

7月31日に実施した第3回事業仕分け

## 市立病院

### 新病院での人間ドックは実施も含め検討

**質問** 本市新病院基本計画変更案のうち、人間ドックの廃止は、地域の医療機関等との連携などが整っていない中で大きな不安があるほか、市民の健康管理の放棄との懸念も払拭できないので、廃止を見直す考えは。【同志会】

**答弁** 人間ドックは、医師の疲弊防止などの視点から実施せず、人間ドック実施医療機関からの紹介精密検査に専念したいと考え、提案しているが、廃止について一定の理解が得られていないことから、市議会の意向も踏まえ、実施も含め検討する。

### 新病院でのがん医療

**緩和ケア病室を活用した施設緩和ケアと地域緩和ケアに重点的に取り組む**

**質問** 本市新病院基本計画変更案では、がん医療における緩和ケア病棟を設置せず、地域緩和ケアに取り組むとしているが、本市の実情では、在宅緩和ケアが、すぐに実行できる状況にないことなどから、同病棟の廃止を再考する考えは。【市民フォーラム21】

**答弁** 新病院では、緩和ケア病室を活用した施設緩和ケアの実施とともに、在宅での、みとりを支援する地域緩和ケアに重点的に取り組む。

また、同病室では、継続入院医療を希望する患者などにも適切な緩和ケアを提供するとともに、末期のがん患者等には、同病室も含め、一般病棟の個室で対応するほか、緩和ケア病棟を設置している医療機関と密接に連携する。

### 真の意味での市民のための病院の実現を図る

**質問** 市立病院をよくするには、病院内の努力だけでなく、行政全体での取り組み支援も必要と思うが、市民に安心と喜びの医療提供を行うための支援は。【公明党】

**答弁** 今年度から、市長部局と病院局で、高松市立病院の医療の確保と健全化をすすめる会を設置しており、今後、全庁的な協力体制のもとで、市立病院が抱える諸課題の解決に向け、活発に議論する。

また、医師や看護師の確保など、市立病院が自立するために、できる限りの支援を行い、真の意味での市民のための病院の実現を病院事業管理者とともに図る。

## まちづくり

### 瀬戸・高松広域定住自立圏さぬき市及び東かがわ市と協定締結に向けた協議を開始

**質問** 本市は、平成22年1月に、近隣5町と瀬戸・高松広域定住自立圏を形成し、連携事業に取り組んでいるが、交流人口の増加を図り、圏域としての魅力を高めるための今後の取り組みは。【同志会】

**答弁** 定住自立圏の形成には、地域経済の活性化や人の流れの創出による本市の中枢拠点性の強化などのメリットがある。

これらのメリットを最大限に発揮し、全体の活性化と魅力ある地域形成を推進するため、新たな圏域の拡大を目指し、さぬき市及び東かがわ市と協定締結に向けた協議を開始し、この圏域拡大により、柔軟かつ弾力的な広域連携を、より一層推進する。

### 自転車等駐車対策総合計画日本一のちゃりんこ便利都市実現に向け実効性のある計画を策定

**質問** 本市は、平成11年に今年度までを計画期間とする自転車等駐車対策総合計画を策定し、自転車等駐車場を整備してきたが、商店街では店舗前に駐輪自転車を見かける。自転車を路上の障害物にさせない環境づくりを推進すべきだが、次期計画策定の基本的考えは。【同志会】

**答弁** 上位計画である総合都市交通計画等を踏まえ、放置自転車等の禁止区域の見直しや、中央商店街での歩行者と自転車の共存、自転車等駐車場整備の官民の役割分担等を検討し、マニフェストに掲げる日本一のちゃりんこ便利都市の実現に向け、実効性のある計画を策定する。

商店街の路上駐輪

### 住宅の耐震診断・耐震改修補助制度の周知・啓発に取り組み、利用促進に努める

**質問** 今年4月、昭和56年の建築基準法改正前の民間住宅の耐震診断・耐震改修への補助制度が創設された。

高齢者への普及啓発や市民が安心して耐震診断・耐震改修が行えるよう丁寧な対応が大事だが、同制度の、さらなる市民への普及啓発は。【公明党】

**答弁** 同制度の開始にあわせ、市広報紙等の活用や関係団体の会で説明するなど、広く周知・啓発に取り組んでいる。

今後は、10月に各支所に臨時相談窓口を設置するとともに、コミュニティ協議会へ働きかけるなど、積極的に周知・啓発に取り組み、さらなる利用促進に努める。

## 産業・経済

### 中小企業基本条例（仮称）制定後は、適時適切に効果的な事業展開に努める

**質問** 中小企業基本条例（仮称）制定後は、中・長期的な中小企業振興への道筋を描き、真に実効性のある支援策に取り組む必要がある。

今後の中小企業振興への取り組みは。【同志会】

**答弁** 同条例で定める予定の振興理念などを踏まえながら、国の動向や経済情勢を見きわめるとともに、他都市の取り組みも参考として、実効性のある中小企業の育成・振興対策を打ち立て、適時適切に効果的な事業の展開に努める。

### 今後の事業系一般廃棄物処理手数料の改定は社会経済情勢等に留意し適切に対応

**質問** 事業系一般廃棄物処理手数料の改定は、事業者の負担をふやし、本市経済にマイナスになると懸念される。今後の改定については、その時々の本市の経済情勢や事業者の状況に応じて判断すべきだが、考え方は。【同志会】

**答弁** 今回の同手数料見直しは、処理コストと現行の手数料額に格差が生じていることから検討を行い、その上で、廃棄物減量等推進審議会などの意見を聞き、現下の社会経済情勢にも配慮して引き上げ額は抑制した。

今後とも、社会経済情勢等に留意し、市議会や同審議会の意見を聞きながら、適切に対応する。

### 公契約条例の制定は考えていないが、先行事例の取り組みなどを調査・研究

**質問** 労働者の労働環境の整備及び、公的事業の質の担保の観点から、公契約条例制定に向けて、本気で他都市の研究や調査を始める考えは。【市民フォーラム21】

**答弁** 公契約に係る適正な労働条件の確保は、国の責任において関係法令により規定すべきであり、これまでも国に取り組みを要請しており、新政権にも真剣な取り組みを期待する。

そのため、現在、本市独自の同条例の制定は考えていないが、対応の充実や見直しの参考とするため、野田市等の先行事例における取り組みの考え方や成果などを調査研究する。

## 福祉

### 次期高松市障害者福祉計画障害者計画と障害福祉計画を一体化し、たかまつ障がい者プラン（仮称）を策定

**質問** 今年度策定する次期高松市障害福

社計画では、現行計画の進捗状況を検証し、就労希望の障がい者が個性に応じて生きがいを持って働ける地域社会を実現すべきだが、次期計画策定の基本的考えは。【同志会】

**答** 次期計画は、基本計画である障害者計画と実施計画である障害福祉計画を一体化し新たに「たかまつ障がい者プラン（仮称）」として策定する。

策定に当たっては、現行計画の実績値の把握や地域課題の整理などを行い、今後、国から示される基本的な考え方を踏まえ、自立支援協議会などの意見を聞きながら策定する。

### 被保護者自立のため、ケースワーカー等の増員も含め支援体制充実に努める

**質問** 生活保護を受ける被保護者の社会参加と自立支援を進めるためには、きめ細やかな支援が必要なので、ケースワーカーや自立支援員を増員する考えは。【市民フォーラム21】

**答** 平成17年度から、自立支援プログラムを策定・導入し、就労や健康管理などの支援を行っており、今年度は、支援体制強化のため、ケースワーカーと自立支援員を各1名増員した。

今後も、被保護者の自立助長のため、ケースワーカー等の増員も含め、適正な支援体制の充実に努める。

### 次期高齢者保健福祉計画 介護と医療の連携を重点課題に位置づけるよう検討

**質問** 今年3月にまとめた高齢者の暮らしと介護についてのアンケート結果で、介護と医療の連携が十分でない状況が明らかになったが、次期高齢者保健福祉計画で、介護と医療の連携を重点課題の一つとする考えは。【市民フォーラム21】

**答** 地域での介護と医療の連携は非常に重要なので、次期計画では、重点課題として位置づけるよう検討する。

また、第5期介護保険事業計画でも、平成24年度から制度化される24時間対応の定期巡回・随時対応型サービスの創設などにより、介護や看護のサービスを一体的に受けられ、高齢者等が地域で安心して暮らし続けられる計画とする。

### 介護支援ボランティア制度導入に向け諸課題を整理

**質問** 高齢者がやりがいを持って楽しく介護予防に励めるよう、3年間介護保険を利用しない高齢者へのお元気ポイント制度や、介護支援ボランティアに参加した高齢者に負担を軽減する介護支援ボランティア制度などの新たな支援システムを導入する考えは。【公明党】

**答** お元気ポイント制度は、介護保険制度本来の趣旨になじまない。

また、介護保険制度にある介護支援ボランティア制度は、実施に伴う保険料など検討課題もあるが、元気な高齢者が介護支援ボランティア活動を行うことは、自分自身の健康増進や生きがいづくりにもつながり有意義なので、次期高齢者保健福祉計画の中で導入に向けての諸課題を整理する。

## 教育

### 来年度はすべての小中学校で「寛学」事業を実施

**質問** 郷土の偉大な先人である菊池寛を学ぶとともに、みんなで同じ本を読み感想を話し合うことで、言語活動の充実にもつながる「寛学」事業は、大いに進めるべきだが、今後の取り組みは。【同志会】

**答** 今年度からの2年間で、小学校5・6年生と中学校全学年に菊池寛の作品集を配布し、道徳の時間等を活用して、菊池寛の人となりに触れ、作品にも親しめるようにする。

今年度は、小学校8校と中学校4校で実施し、来年度は、すべての小中学校に取り組みを広げる。

中央公園の菊池寛像

### 中学生に異性への暴力防止意識を啓発

**質問** 次期たかまつ男女共同参画プラン作成で行われた市民意識調査では、男女間の暴力（DV）防止に、学校または大学での暴力防止教育が必要との回答が約49％に達したが、教育現場でDV防止に取り組む考えは。【市民フォーラム21】

**答** 市が高校生を対象に行っているデートDVのセミナーが、来年度から中学生も対象になるので、校長会等で広く周知し中学生の異性への暴力防止意識を啓発するとともに、今後とも、道徳学習等を通して、男女が理解・協力し合いながら個性や能力を主体的に発揮し、人間性豊かに生きる児童生徒の育成に努める。

### 教育クラウドによる校務支援システムの導入を検討

**質問** 外部サーバ上にデータを保存・管理する教育クラウドによる校務支援システムを導入した自治体では、校務の効率化や情報漏えいの防止などが実現している。

本市でも、同システムの導入などにより、教員が児童生徒と向き合える時間やセキュリティーの確保を目指す考えは。【公明党】

**答** 同システムで扱う学籍や成績など、市として標準化すべき教育情報の整理が必要なほか、教育クラウドは、高度なセキュリティー対策など、今後の検証が待たれる状況なので、これらシステムの導入は、先進事例も参考にしながら段階的に検討する。

# 質疑

今定例会に提出された議案について、質疑がありました。

## 中小企業基本条例（仮称）制定に、他都市の先進事例を生かす考え

岡田まなみ議員（無所属）

**質疑** 中小企業基本条例（仮称）制定のため、中小企業経営者等で構成する懇談会が設置されるが、農業及び観光振興を条例の目的としている吹田市などの先進事例を学び、条例制定に生かす考えは。

**答弁** 本市の中小企業の現状などを踏まえ、他都市の先進事例についても、中小企業基本条例（仮称）制定懇談会に示し、意見を聞く。

【他の質疑▼ため池ハザードマップ整備など】

# 一般質問

市政のさまざまな課題について、10人の議員が質問しました。

## 学校施設の建設等に地元産木材の優先的利用を

小比賀勝博議員（同志会）

**質問** 森林や山林を育成・保全し、林業の復興につなげるには、その収益で生計が成り立つような環境づくりや地元産木材の利用拡大が、ぜひとも必要と考えるが、学校施設の建設等に地元産木材を優先的に利用する考えは。

**答弁** 地元産木材の利用は、森林の整備や林業の振興を支援する一環として重要なので、今後とも、建物の内装材への使用などに、流通状況や耐久性・価格等を踏まえながら優先的な利用に努める。

【他の質問▼建設計画等・学校校舎など】

## 旧牟礼町とエルバートン市との姉妹都市提携30周年記念行事への支援を

三野ハル子議員（市民フォーラム21）

**質問** 旧牟礼町と姉妹都市提携を結んでいたエルバートン市との交流が、来年で提携30周年を迎える。

地元では、実行委員会を結成して行事を予定しているが、支援を行う考えは。

**答弁** 両地域間で30年間も幅広い交流が続いてきたことは、交流にかかわった人々の熱い思いと尽力のたまものであり、今後とも、この交流が途絶えずに、より一層、強いきずなを築けるよう、牟礼・エルバートン親善委員会とも協議し、具体的な支援内容を検討する。

【他の質問▼高齢者保健福祉計画の見直しなど】

## AEDを市内でのイベント開催時に無料で貸し出す制度の創設を

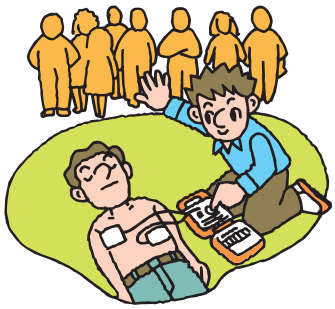
中村伸一議員（公明党）

**質問** AED（自動体外式除細動器）を市内でのイベント開催時に無料で貸し出す制度を創設し、あわせて使用方法の普及啓発を図れば、救命率向上に寄与すると考えるが、同制度を創設する考えは。

**答弁** AEDの普及により、イベントに居合わせた人がAEDを適切に使用し、命が助かった事例がある一方、施設にAEDが備えつけられていたら命が助かったかもしれないケースもあるので、貸し出し

を既に制度化している他都市の状況も参考に、今後、制度の創設を検討する。

【他の質問▼人づくりの強化・交流人口の拡大など】



## 旧市街化調整区域の浸水対策について、関係部局の総合的な検討を

波多　等議員（同志会）

**質問**　本市の旧市街化調整区域では、頻発するゲリラ的な豪雨により用水路があふれ、住宅の床下浸水や道路冠水による自転車等の水路転落などが多発している。

浸水対策を市全体の問題として、関係部局が総合的に検討する考えは。

**答弁**　同区域の浸水対策については、下流の排水先となる河川の改修状況や、地域の実情に応じた整備手法の検討などの課題がある。

今後、河川や水路を管理する県などと協議・調整を行うとともに、全庁的な連携・協力体制のもと、地元関係者等と協議しながら、浸水被害軽減に努める。

【他の質問▼個人住宅の耐震診断と耐震改修など】

## 公立小中学校の2学期制を見直し3学期制に戻す考え

森谷忠造議員（同志会）

**質問**　学校週5日制の実施後、多くの学校が授業数をふやそうと、2学期制を導入したが、期待外れとなったことなどから、3学期制に戻す市町村が急増している。

本市の公立小中学校についても、2学期制を見直し、3学期制に戻す考えは。

**答弁**　各校の自己点検・評価をもとに、改めて学期制について成果と課題を検証する時期と認識しており、今年度中に検討委員会を設け、幼・小・中・高等学校の、それぞれの視点を踏まえ、学校現場や保護者等の意見を聞きながら総合的に検討する。

【他の質問▼相撲場の整備など】

## 生活保護での住宅扶助費代理納付を民間賃貸住宅にも

中西俊介議員（市民フォーラム21）

**質問**　平成18年の生活保護法の一部改正により、被保護者のかわりに、福祉事務所が住宅の貸し主等に家賃を直接支払う住宅扶助費代理納付が可能になり、本市では公営住宅で対応している。

代理納付は、貸し主と借り主の両者にメリットがあるので、民間賃貸住宅でも検討する考えは。

**答弁**　代理納付により、住宅扶助費が適正に家賃等の支払いに充当できることは生活保護法の趣旨に沿うので、今後、民間賃貸住宅への代理納付制度の実施に向けた具体的な方法等を検討する。

【他の質問▼被災地支援・危機管理など】

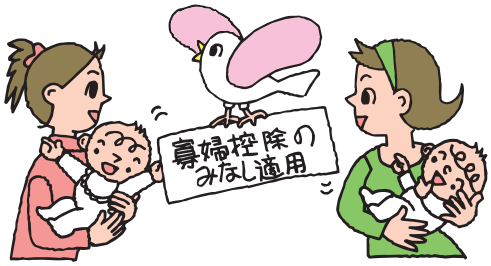
## 未婚のシングルマザーの保育料算定に寡婦控除のみなし適用を

春田敬司議員（公明党）

**質問**　未婚のシングルマザーは、婚姻を前提条件とする所得税法の寡婦控除を受けられない。

このため、死別もしくは離別のシングルマザーと未婚のシングルマザーとでは、所得税額等によって利用料金が変わる保育料の算定が違う。

市長は、子育てしやすいまちを目指しているが、保育料の算定に寡婦控除のみなし適用を行う考えは。




答弁　未婚のシングルマザーは、寡婦と比べて保育料が高くなる場合があるが、実態として、母子家庭という状況は同様なので、未婚のひとり親世帯に対する寡婦控除のみなし適用を検討する。

【他の質問▼事業仕分け・事前復興・救急医療など】

## 高松城跡を中心に歴史遺産めぐりのルート整備を

十川信孝議員（同志会）

質問　市内にある数多くの史跡は、貴重な観光資源であり、観光客誘致を促進するためにも、高松城跡を中心に、市内各所にある史跡を観光資源として整備するとともに、歴史遺産めぐりのルートを整備する考えは。

答弁　現在、高松城跡や屋嶋城跡の保存整備を初め、史跡の説明板設置のほか、重要な文化財のわかりやすい冊子を作成するなど、文化財の公開と活用に向け取り組んでいる。

今後、同ルートの整備も含め、本市が誇る優れた歴史遺産の魅力を市民や観光客にPRする効果的な方策を検討する。

【他の質問▼市税等未収債権の徴収など】

## 集合住宅に自転車等駐車場の確保を

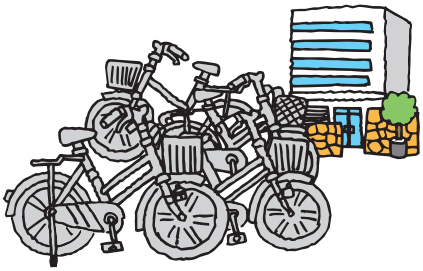
加藤博美議員（同志会）

質問　マンションの玄関に、乱雑に多くの自転車が放置されており、集合住宅における自転車等駐車場の設置義務づけが十分でないと考えるが、同駐車場確保についての所見は。

答弁　現在、本市条例では、集合住宅には、同駐車場の設置義務がなく、一部には、集合住宅の前にとめられた自転車が通行の支障になるなどの問題が発生している。

今後、次期自転車等駐車対策総合計画の策定の中で、同駐車場の設置を義務づける対象施設に、一定規模以上の集合住宅などを追加する方向で検討する。

【他の質問▼児童生徒の体力向上など】



## 高松まつりに伝統的な正調・一合まいたの踊りを

森川輝男議員（同志会）

質問　正調・一合まいたの盆踊りうたは、香川県の人々に最も親しまれ、歌詞もわかりやすいなど普遍性のある、よいうたと言われている。

高松まつりに伝統的な正調・一合まいたの踊りを組み入れる考えは。

答弁　正調・一合まいたの踊りは、高松まつりの踊りの原点なので、演舞できる機会を設けることについて、今後、運営主体である高松まつり振興会の中で、関係者の意見を聞く。

【他の質問▼東日本大震災・災害支援物資など】

# 情報BOX

## 委員会のその他活動など

### ●所管事務調査

常任委員会が所管する事務の中でテーマを設けて、調査しており、次のとおり開かれました。

| | | |
|---|---|---|
| 総務消防 | テーマ／文化芸術の振興方策について | |
| | 8月18日 | 本市の文化芸術団体の活動支援などについて調査しました。 |
| 教育民生 | テーマ／歴史遺産の保存と活用について | |
| | 8月17日 | 本市における文化財の現状などについて調査しました。 |
| | 9月15日 | 本市の文化財の保存と活用事業などについて調査しました。 |
| 経済環境 | テーマ／エコシティたかまつ推進プロジェクトについて | |
| | 8月18日 | 電気自動車の導入状況、太陽光発電システム設置費補助制度などについて調査しました。 |
| | 9月15日 | 国の太陽光発電の余剰電力買取制度などについて調査しました。 |
| 建設水道 | テーマ／中心市街地における駐車施設のあり方について | |
| | 8月25日 | 本市の駐車場にかかわる、これまでの取り組みや現状と課題などについて調査しました。 |
| | 9月15日 | 将来の駐車需要や今後の駐車施策の方向性などについて調査しました。 |

### ●特別委員会

特定の問題を審査・調査する会で、次のとおり開かれました。

| | | |
|---|---|---|
| 新病院等整備 | 9月16日 | 新病院基本計画の変更について説明を受け、協議しました。 |

### ●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

| | | |
|---|---|---|
| 総務消防 | 8月3日 | 屋島陸上競技場再整備基本計画の改訂 |
| | 8月18日 | 地域コミュニティ協議会事務局体制強化への支援 |
| | 9月15日 | 第3次たかまつ男女共同参画プラン（仮称）素案 |
| 教育民生 | 8月17日 | 「健やか高松21」計画期間の延長、次期高松市高齢者保健福祉計画 |
| 経済環境 | 8月3日 | 一般廃棄物処理手数料（事業系）の見直し |
| 経済環境・建設水道（合同） | 9月15日 | 汚水処理施設共同整備事業 |

## 人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

●人権擁護委員候補者

小比賀　信　正　氏　　松　本　タ　ミ　氏
中　村　文　司　氏　　松　原　綾　子　氏

## 委員会の議案審査

各委員会での審査が、次のとおり行われました。

《常任委員会》

| | | |
|---|---|---|
| 総務消防 | 議案13件（可決） | |
| | コミュニティ活動に必要な備品購入等への助成、高松西部地域文化施設（仮称）建設工事の請負契約などについて審査しました。 | |
| 教育民生 | 議案4件（可決） | |
| | 保育所等の震災対策用品の整備、国民健康保険事業高額療養資金貸付金などについて審査しました。 | |
| 経済環境 | 議案2件（可決） | |
| | 源平屋島地域活性化事業、荒廃竹林整備事業などについて審査しました。 | |
| 建設水道 | 議案4件（可決） | 陳情3件（不採択） |
| | 椛川ダム水源地域の整備、高松港多目的国際ターミナルの耐震強化岸壁の整備などについて審査しました。 | |

《特別委員会》

| | |
|---|---|
| 総合防災対策 | 議案1件（可決） |
| | ため池ハザードマップの整備について審査しました。 |

## 可決された意見書（要旨）

### 「農林漁業用軽油に係る軽油引取税の免税措置の恒久化等を求める意見書」

軽油引取税の農林漁業用燃油等に係る免税措置並びに、農林漁業用A重油に係る石油石炭税の免税・還付措置が、今年度末で廃止されることとなっており、これらが廃止されると、厳しい経営環境にある本市農林漁業者に大きな打撃を与え、その上、本年10月から導入される、いわゆる地球温暖化対策税の賦課は、地域経済全体に重大な影響を及ぼすので、農林漁業の振興はもとより、食料自給率の向上などの観点から、農林漁業用軽油に係る軽油引取税の免税措置の恒久化を初めとする3項目の燃油税制に係る特例措置を国会や国に要望するものです。

## 議会改善検討委員会

議会情報の発信について協議するため、8月31日に開催し、協議した結果、議案の賛否情報については、広報紙及びホームページを活用して発信することとし、具体的な掲載内容については、今後、さらに協議・検討していくことにしました。

## 決算審査特別委員会

平成22年度の決算を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。（定数10人）

◎山　田　　勲(公明党)　○加　藤　博　美(同志会)
吉　峰　幸　夫(市フォーラム21民)　井　上　孝　志(同志会)
佐　藤　好　邦(同志会)　藤　原　正　雄(同志会)
中　村　伸　一(公明党)　岡　野　朱里子(市フォーラム21民)
川　崎　政　信(同志会)　大　見　昌　弘(同志会)
（◎委員長　○副委員長）

## テレビ放映のチャンネル変更のお知らせ

平成23年9月より、高松ケーブルテレビで放映されている高松市議会本会議の中継及び再放送のチャンネルがデジタル122chから111chに変更になりました。

発行／高松市議会　編集／市議会広報紙編集委員会
〒760-8571　高松市番町一丁目8番15号　☎839-2808　FAX839-2816
高松市議会ホームページ　http：//www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、環境に優しい水なし印刷及び植物油インキを使用しています。